

行政懇談会開催

広く町民の皆さんに町の仕事を理解していただくことを目的に、2月15日神崎ふれあいプラザ視聴覚室と米沢小学校体育館を会場に行政懇談会が開催されました。二回に分けて行われた懇談会には、神崎町議会議員をはじめ町民147名が参加されました。

懇談会は、冒頭に石橋町長が町の財政状況や事業の取り組み内容、合併問題等の経過と今後の取り組みについて所信を述べた後、町執行部より町道整備や介護保険など各課の主要施策が説明されました。

参加者からは、関心の高い市町村合併を中心に町政に対して活発な質疑や提案がありましたので、主な内容について町の方針をお知らせします。

Q 市町村合併の現状と今後の展開について

A 神崎町の将来、町民の福祉向上と発展は成田空港を核とする空港圏合併が必要不可欠であるとの信念のもと、町民皆さんの意志の尊重と議会の後押しをいただきながら、千葉県市町村合併推進審議会が示した成田市・富里市・芝山町・多古町・栄町・神崎町の2市4町の組み合わせ構

想に沿って、合併に向けた方策を模索してきました。昨年8月、1市4町の首長連名で成田市長あてに合併協議の申し入れをしましたが、成田市長からは、新成田市を軌道に乗せることが優先のため、新しい合併に向けた協議会には応じられないと、大変残念な回答がありました。この回答に対し1市4町の首長が集まり、今後の対応を話し合っ

た結果、成田空港が日本を代表する国際空港として更なる発展を遂げるためには、成田市が中心的な役割を担うことが必要であるとの認識のもと、空港周辺自治体の合併協議は、平成22年3月末の合併特例法の期限に促われず、連携を密にして門戸を開き対応することを確認いたしております。

また、時期を特定することとは出来ませんが合併の可能性が皆無になったとは認識をしておらず、再度時期到来を待とうとの認識で一致しているところです。

しかしながら、昨年末から、町議会主導により成田市との合併がなくなったから他市との合併か、単独かを問うアンケート調査を実施すべきとの申し入れがありました。しかし、これからの神崎町・町民の将来を考えた場合、空港圏合併こそ必要であるとの考えに全く変わりありませんので、アンケート調査は実施しない旨を町議会に対して回答をいたしました。



Q 町の財政状況について

A 平成19年度普通会計（一般会計と給食特別会計）決算では、歳入が町税及び地方交付税が予定額を上回ったことから25億3千万円、歳出は特別職及び一般職員の人件費削減、議員定数の減や施設維持管理費等の削減によつて23億3千4百万円となり、差し引き1億9千6百万円の剰余金が生じました。

平成20年度決算の見通しは歳入25億4千万円、歳



出24億5千万円の見込みです。各種の削減対策が効果となつてあらわれておりますが、引き続き効果的な財政運営を堅持していかなければなりません。それ以上に金融危機や円高による経済悪化は、町の財源確保に影響を及ぼしています。今以上に少ない予算で健全な財政運営に全力を挙げて取り組んでまいります。

Q 道の駅の構想について

A 圏央道は平成24年度に松崎地先にインター